

「絵の読み解き認定」制度について

【実施目的】

近年、カウンセリングやセラピーの場に描画を導入し、対象者の心理的背景を理解しようとする試みが広がっています。大人も子どもも精神構造が複雑化し、通常のコミュニケーションが難しくなっている今、こうした心理的アプローチは社会的にも大切な役割を担っていくものと思われます。

しかし、絵の読み解きの深さやレベルはさまざまです。そこで、読み解き能力に関する何らかの基準を設けることの必要性を感じ、2007年度より新たに末永メソッドをベースにした「絵の読み解き認定制度」を導入することにいたしました。

これは、絵の読み解きの的確さと同時に、いかにクライアントに有益なカウンセリングができるかを判断し、その実践力に応じて3級、2級、1級の認定を与えるものです。

【対象者】

原則として、2007年に行われる「心のSOSを見逃さないための絵の読み解き集中講座」を2日間受講された方が対象となります。ここでの基本的な内容を踏まえた上で、所定のレポートを提出していただきます。

【認定基準】

1つの絵は、多角的に読み解くことができ、また「絶対的な正解」というものがあるわけではありません。ただ末永メソッドで最も大切なのは、あくまでもクライアントの手助けになるような読み解きができるかどうかという点です。

したがって、「絵の読み解き＝セラピーである」という基準で、

- 基本的な読み解き力
 - 表現者の心理的背景に対する洞察力
 - 読み解きをもとにいかにクライアントに有益なカウンセリングができるか
- などのポイントを中心に判断。その能力に応じて、3級、2級、1級を認定します。

【応募方法】

・課題画と自由画(各人の事例)、2つについてレポートを提出。(枚数や書き方の詳細については、指定講座にて文書配布)

各自で選ぶ自由画は、子どもの絵から大人、高齢者の絵まで対象範囲はとくに設けません。

・審査料1万円。

・今年度の締め切り

＜福岡＞ 9月21日(金) / ＜大阪＞ 12月21日(金)

【審査と認定証発行】

・発表と通知 * 結果については、文書にて応募者に通知

＜福岡＞ 11月15日(木) / ＜大阪＞ 2008年2月15日(金)

・審査は末永蒼生を中心に行い、認定証は末永の研究機関である「末永メソッド色彩心理研究所」で発行いたします。

・認定は2年毎の更新制とし、一定の条件を満たすことが前提となります

・認定者は「アート&セラピー色彩心理協会」ネットワーク誌誌上や、「ハート&カラー」「色彩学校」のホームページ上で氏名などを公表し、社会的認知度を高めていきます。

企画: 末永メソッド色彩心理研究所
主催: (株)ハート&カラー「色彩学校」